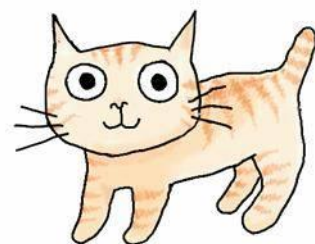


飼い主のいない猫への市民活動について

◎ 飼い主のいない猫が多い地域では、次のような市民活動をされている団体（町内会等）や個人の方々がおられます。そんな活動について、少しだけご紹介します。

町内会などの単位での活動



地域猫活動

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行い元に戻したり、新しい飼い主を探して飼い猫にしていくことで、将来的に飼い主のいない猫をなくしていく活動です。

町内会などの地域住民が主体となって活動するため、周辺住民の理解と協力が重要になります。

具体的には・・・不妊去勢手術の実施・エサの管理・トイレの設置・排泄物の清掃など。また、活動実施のための住人の役割分担も必要です。

メリット：将来的な猫の数の減少、環境美化、地域の結びつきの強化

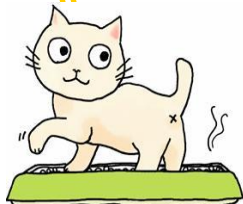
デメリット：実際に数を減らすのに複数年かかる
数を減らすためには、住民間でのルールづくりと周知が必要

保健所や、協力してくれているボランティアさんに相談しながら進めましょう。

また、猫が減るまでに10年以上かかることも。気長に取り組んでいく必要があります。

参考資料

「住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン」（環境省）



個人でもできる活動

TNR（ティー・エヌ・アール）活動

飼い主のいない猫の繁殖を抑え、自然淘汰で数を減らしていくことを目的に、捕獲（Trap）し、不妊去勢手術（Neuter）を施して、元のテリトリーに戻す（Return）活動

具体的には・・・不妊去勢手術をして、元に戻すのみの活動です。

参考資料

「住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン」（環境省）

市民活動をするうえで大切なこと

- 住民の中には、猫が嫌いな人やアレルギーで近寄れない人がいます。また、敷地内に入ってきた猫の糞尿に悩まされる場合もあります。困っている人が、困り続けることは、決して良いことではありません。住民同士で話し合いをして、対策が取れるようにしましょう。
- これらの活動は、将来的には猫の数を減らしていくことが目的であり、猫をどんどん増やしていくことが目的ではありません。
- どんどん増えている場合は、エサの管理方法など、なんらかのバランスが崩れている可能性があります。無責任にエサやりを続ける人へは、経験豊富なボランティア等の協力を得ながら、町内会等からの話し合いをすることが必要です。時には、無責任なエサやり行為者に対して、行政からの指導が必要になることがあります。

※倉敷市では、令和2年7月から、「飼い主のいない猫の不妊去勢手術費助成事業」を開始しました。詳しくは、下記までご相談ください。（助成額には限りがあります。）

お問い合わせ・ご相談先：倉敷市保健所動物管理係 TEL434-9829